



※ホームページにも掲載しています

響く歌声、あふれる笑顔の大ちゃん集会

7月8日(水)に1学期2回目の全校集会「大ちゃん集会」を行いました。初めに、今月の朝の会で歌っている「手のひらを太陽に」を全校で歌いました。全校児童の元気な歌声は、とても迫力がありました。その後、ファミリー班の仲間がもっと仲よくなるようにと、あったか言葉の「ばくだんゲーム」を行いました。ファミリー班の友達の好きな教科や好きな給食のメニューについて、「いいね!」「いっしょだ」「すごいね」と言葉がけをして、温かい気持ちになりました。

集会の終わりに子供たちに伝えたのは、いい学校とは、歌声が響き、みんなが笑顔の学校だということです。大ちゃん集会を通して、子供たちが、自分たちの大門小学校が、とても素敵な学校だということを実感してくれたと思います。



4年総合 ビオトープについて学びました

6月16日(火)、4年生が総合的な学習の時間にビオトープアドバイザーの先生から、学校のビオトープや生き物のつながりについて教えていただきました。20年以上前からずっとお世話になっている先生方です。



浅井太鼓サマーコンサート

6月24日(水)、新しいメンバーになってから初めてみんなの前で演奏を披露してくれました。今年は、地域の先生に指導していただいています。その成果もあり、構えたときのバチの向きがそろい、力強い叩き方で、ずんと足下から体に響きが伝わってきました。



読み聞かせボランティア「紙ふうせん」

今年も1年生と2年生が読み聞かせをしてもらっています。毎回、どんなお話が聞けるか、みんなとても楽しみにしています。



お世話になっています 子ども応援ボランティア

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)からの呼びかけで、畑での野菜づくりや家庭科の調理実習・裁縫、プールでの見守り等で、地域の方々にたくさんお世話になっています。本当にありがとうございます。



P T A教養委員会「プロが教える救命講習会」

6月26日(金)午後7時よりランチルームでP T Aの救命講習会が行われました。夏のプール開放はありませんが、心肺蘇生法やA E Dの使い方は、命を守る行動としてとても大切です。教職員は、3年に1回、必ず救命講習を受けることになっています。



参加者は人形を使って胸骨圧迫やA E Dの操作を体験した。佐伯さんは「倒れた人を見たら、今日やったことを思い出して、できることをやってほしい」と求めた。

めた上で肩をたたいて声をかけ意識があるか確認し、周囲の人に119番やA E Dの手配を頼むまでの手順を説明。意識や呼吸があるかの判断に迷ったら、ないものと考えて次の行動に移るようアドバイスした。

■親子で心肺蘇生法学ぶ
射水市大門小学校P T A(山崎修平会長)は26日夜、同校でプロが教える救命講習会を開き、消防署員から心肺蘇生法や自動体外式除細動器(A E D)の使い方を教わった。写真。
射水消防署大門出張所の佐伯達矢さんと市消防団南部女性分団の坂井未来さん、平野一美さんが講師を務めた。児童と保護者約25人が参加した。